みんなの文芸

俳句・短歌を募集
3日必着
作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名・電話番号を明記してみらい創造課までお寄せください。
1人1句、1首に限ります。

俳句 根岸茉莉 選　投稿数 16 句

鮎解禁釣場押さえて夜明け待つ　下日野沢　小原　和夫

(評)山の緑が濃くなり川の水音も高くなる六月。釣人達が待ち焦がれていた鮎の解禁日です。まだ暗いうちに出かけ、良い釣場に陣取って、胸踊らせながら夜明けを待っている作者です。釣場の光景が目に浮かび、わくわく感が伝わって来る良句だと思います。二句目、どくだみは十薬とも言い利尿薬・皮膚などの民間薬として使われてきました。家の回りに広がって生えたどくだみを厄介者にせず乾かしてお茶を作る作者。気力も体力も素晴しいです。益々お元気で暑さを乗り越えて下さい。三句目、子供と大人が入り混って不安定な年頃。頑張って高校生になった後の脱力感、怠惰も一時です。気にせずゆったりして下さい。季語の使い方が上手ですね。

どくだみを吊すや老の養生に　三沢　眞下　杏子
客を待つ刻の間長し夏座敷　皆野　根岸　詩子
太宰忌や我十六になり怠惰　皆野　太幡琉美花
飛行機か車にしよか茄子の馬　皆野　萩原　初恵
戦場の跡に向日葵咲かす夢　三沢　新井　民子
蜂トンボ来て撓わせる花ギボシ　皆野　戸塚喜久雄
三味の音にだらりの帯や夏座敷　皆野中　小菅恭青史
草刈やあやめ二株残しおき　国神　藤原マキ子
朝取りの手籠も濡れる夏野菜　下田野　新井　節子
初なりの胡瓜もぎとる幼なの手　皆野　櫻井　早苗

短　歌（投稿順）

自然峡縫って流れる日野沢川青空写してさらさら下る　下日野沢　太幡　喜一
新車漕ぐ娘の背中か細くてそれでも巣立つ小4の夏　皆野　大澤　貴夫
甥姪の吾に逢いに来たいと言う心嬉しく待ち遠しい日々　皆野　根岸　詩子
退く笑顔と当選成りし緊張の若き町長われらの皆野　三沢　眞下　杏子
ひぐらしが小暗き森のそこかしこ経を唱えて夏は過ぎゆく　皆野　萩原　初恵
枝詰めて枯れしかと思ふ黄楊の木に漸く出たる新芽に安堵　三沢　新井　民子
梅漬る亡母の仕種を想ひつつ塩分ひかえ我流に漬る　三沢　新井　叶子
ハッとして母影探す踊りの輪火垂るを観るなら下田野がいちばんひっそりとしてやたらいいのサ　皆野　石原　達也
梅雨明け連日猛暑熱中症紙面をにぎわす異常な気象　皆野　戸塚喜久雄
庭園を見させてもらいゆったりと甘き香の中心ふくらみ　国神　藤原マキ子
久しぶり運動公園声揚がる万緑の中試合有るらし　下田野　新井　節子
都会より少しは涼し山里で電気逼迫ニュースに団扇　上日野沢　四方田利男
早朝の怠き目覚めに近く来て励ます如く老鶯の啼く　下日野沢　浅見　豊子
猛暑にて畑の野菜庭の花水がほしいと夕立を待つ　皆野　村田ハツ代
明後日の気温の予報見て変える県民割の旅行の予約　皆野　打木　昭廣
児ら雨の鎌倉巡り濡るる靴手分けし宿で新聞紙詰めき　皆野　引間　万亀
雹害のトウモロコシに歯を立てて変わらぬ甘い夏を楽しむ　皆野　太幡琉美花

今月の題字

皆野小6年
青葉　美琴さん

児童の見守り放送

皆野小3年
佐藤　芽衣さん

1歳のお誕生日おめでとう

音ちゃん
国神区
浅見　和文さん
絢さん

お兄ちゃんと遊ぶのが大好きな音ちゃん！元気に大きくなってね！

1歳になる赤ちゃんを募集しています

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに、みらい創造課窓口（写真をご持参ください）または、町ホームページからお申し込みください。

9月号の締め切りは、8月10日（水）です。

問合せ　みらい創造課
政策推進担当
☎26-7334